

現況分析における顕著な変化に ついての説明書

教 育

平成 2 2 年 6 月

福島大学

目 次

1. 人文社会学群	1
-----------	---

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育)研究

法人名 国立大学法人福島大学

学部・研究科等名 人文社会学群

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 教育方法

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名 主体的な学習を促す取組

新入生向けとして、学習ガイドブック「学びのナビ」(60頁)を、平成19年度末に初めて作成し、20年度から利用を開始した。「学びのナビ」は、「与えられるのを待つのではなく、自分で自分の学びを作り上げる」ことを目的に、教員からのメッセージ、新入生向けQ&A、学習スキルについて等、参考になることが多数記載されており、総合科目「大学で学ぶ」、教職科目「教職入門」、教養演習等の授業のテキストとして、記載内容にふれながら大学での学習方法等について説明を行っている。

また、「学びのナビ」には、学生自身が、4年間の学びの目標を立てたり、振り返ったりできる「学習ポートフォリオ」の記載欄が設けてあり、能動的な学習をPDCAサイクルで実現できるよう支援する、まさに「主体的な学習を促す教科書」として活用されており、付録には、情報収集のための図書館利用法についても掲載している。さらに、21年度版(96頁)では、A4版一色刷からB5版二色刷に変更するとともに、イラストを多用し項目の追加等の改善を図り、初めて新入生全員に配布した。

加えて、21年度、新入生には高校と大学の学びの違いがわかるように、3,4年生には卒業論文作成の手助けとなるようにという目的で、附属図書館に、レポートや論文の書き方・ノートの取り方・プレゼンテーションや資料収集の方法・クリティカルシンキング・KJ法・マインドマップといった学習スキル、フィールドワーク、ボランティア活動など、よりよい学生生活を送るための手引きとなる資料を集めた「学びのナビ」コーナーを新設した。また、「シラバス参考図書」コーナーの利用促進のため、これまで閲覧限定であった図書の短期貸出制度(1泊2日以内)を21年度から開始し、1年間で延べ465人、589冊の利用があった。

資料1 「学びのナビ」写真



資料2 附属図書館内「学びのナビ」コーナー写真



(出典：附属図書館HP)

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 国立大学法人福島大学

学部・研究科等名 人文社会学群

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 学業の成果

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名 学業の成果に関する学生の評価

平成 20～21 年度にかけて、FD 関連各種企画として、学外有識者による FD 学習講演会を 4 回、1 泊 2 日の FD 合宿研修を 1 回、また、落語家・大学教員・元テレビ局アナウンサー等多彩な講師陣による FD セミナーを 6 回開催する等、これまでになく積極的に授業改善に取り組んだ。特に、FD 宿泊研修では、山形大学の准教授を講師に迎え、2 日間にわたり、学長、教育担当及び学務担当両副学長を始め、教職員と学生が一堂に会し、合宿形式で授業改善等大学教育の質の向上について話し合いを持った。

参加した学生からは、「福島大学がもっと好きになった。」、「教職員の皆さんと率直に意見交換ができたことは有意義でした。」、「継続的に開催し、年々より良いより密な内容になっていけばいい。」といった感想が寄せられた。

こういった取組みにより、授業の総合満足度評価が上昇（5 段階評価、①共通教育 19 年度:4.19 ⇒ 21 年度:4.36, ②専門教育 19 年度:3.96 ⇒ 21 年度:4.23）するなど、組織的な FD 推進の効果が現れている。

資料 1 FD 宿泊研修概要

日時：平成 21 年 9 月 27 日～28 日 1 泊 2 日 場所：二本松市岳温泉

日程：9/27 13:45～ 授業アンケートを考える

・教員/学生の声（経済経営学類） ・授業アンケート他大学の事例に学ぶ

16:15～ 大学での NG 授業を考える 講演/ビデオ上映 講師：山形大学高等教育研究企画センター准教授

9/28 9:00～ 高校から大学への学びの連続（と断絶）

・グループ討議 ・全体まとめと次年度への展望

（出典：福島大学 FD プロジェクト活動報告書(平成 21 年度)）

資料 2 教育改善のための学生アンケート調査結果

設問：総合的にみてこの授業に満足しましたか（通年・後期科目）

評価：5 強く思う、4 やや思う、3 どちらとも言えない、2 あまりそう思わない、1 まったくそう思わない

①共通教育科目

	16 年 1 月	20 年 1 月	22 年 1 月
全学平均	4.02	4.19	4.36

②専門教育科目

	16 年 1 月		20 年 1 月	22 年 1 月
旧教育学部	3.96	人間発達文化学類	4.10	4.31
旧行政社会学部	3.77	行政政策学類	3.84	4.03
旧経済学部	3.72	経済経営学類	3.94	4.36
3 学部平均	3.81	人文社会学群平均	3.96	4.23

（出典：福島大学 FD プロジェクト活動報告書(平成 15 年度、平成 19 年度、平成 21 年度)）

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育)研究)

法人名 国立大学法人福島大学

学部・研究科等名 人文社会学群

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

事例2 「教育方法の改善に向けた取組み状況」

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

FD 関連各種企画として、平成 20～21 年度にかけて、学外有識者による FD 学習講演会を 4 回、1 泊 2 日の FD 合宿研修を 1 回、また、FD セミナーを、職員のプレゼンテーション能力向上と合わせた FD・SD ジョイントセミナーとして 6 回開催する等、これまで以上に積極的に授業改善に取り組んだ。特に、FD 合宿研修では、山形大学の准教授を講師に迎え、2 日間にわたり、学長、教育担当及び学務担当両副学長を始め、教職員と学生が一堂に会し、合宿形式で授業改善等大学教育の質の向上について話し合いを持った。

さらに、21 年度には、附属図書館に、教授法、教材開発の方法等に関する資料を集めた「授業・教育改善図書コーナー」、レポートや論文の書き方・ノートの取り方といった学習スキル等の資料を集めた「学びのナビ」コーナーを新設した。また、「シラバス参考図書コーナー」については、これまで閲覧限定であった同コーナー利用促進のため、21 年度より短期貸出制度(1 泊 2 日以内)を開始し、1 年間で延べ 465 人、589 冊の利用があった。

加えて、平成 20 年度には、教育内容及び教授方法の改善のための組織「FD プロジェクト」により、学習ガイドブック「学びのナビ」を初めて発行し、総合科目「大学で学ぶ」、教職科目「教職入門」、教養演習等の授業において、記載内容にふれながら大学での学習方法等について説明を行った。また、21 年度には、イラストを多用し項目の追加等様々な改善を図った 21 年度版を作成し、初めて新入生全員に配布した。

これらの取組みにより、学生による授業の総合満足度評価の平均値が上昇(資料 1)するなど、組織的な FD 推進の効果が現れている。

資料 1 教育改善のための学生アンケート調査結果

設問：総合的にみてこの授業に満足しましたか(通年・後期科目)

評価：5 強く思う、4 やや思う、3 どちらとも言えない、2 あまり思わない、

1 まったく思わない

①共通教育科目

	16 年 1 月	20 年 1 月	22 年 1 月
全学平均	4.02	4.19	4.36

②専門教育科目

	16 年 1 月		20 年 1 月	22 年 1 月
旧教育学部	3.96	人間発達文化学類	4.10	4.31
旧行政社会学部	3.77	行政政策学類	3.84	4.03
旧経済学部	3.72	経済経営学類	3.94	4.36
3学部平均	3.81	人文社会学群平均	3.96	4.23

(出典：福島大学 F D プロジェクト活動報告書(平成 15 年度，平成 19 年度，平成 21 年度))